

2016/05/18

第70回日本栄養・食糧学会大会でコラーゲンペプチドの機能性研究成果を発表

2016年5月13日～15日に開催された第70回日本栄養・食糧学会大会でコラーゲンペプチドの機能性研究成果 2 演題を発表しました。

1) 培養骨芽細胞におけるFOXG1とコラーゲンジペプチドPro-Hyp (PO) の作用

城西大学大学院 薬学研究科との共同研究成果の発表

骨芽細胞 (MC3T3-E1) 培養試験において、骨分化で重要な働きを示す転写因子 (FOXG1) にコラーゲン由来ジペプチドであるプロリルヒドロキシプロリン (Pro-Hyp) が関与していることを示しました。コラーゲンペプチド摂取における骨の健康維持に関する分子作用メカニズムの一部が確認されました。

2) 前駆軟骨細胞に及ぼすコラーゲン由来トリペプチド (Glu-Hyp-Gly) の作用

城西大学大学院 薬学研究科との共同研究成果の発表

前駆軟骨細胞 (ATDC5) 培養試験において、コラーゲン由来トリペプチドであるグルタミルヒドロキシプロリルグリシン (Glu-Hyp-Gly) が細胞分化の初期及び後期に石灰化を亢進することを確認しました。この成果により、軟骨組織で関与するコラーゲンペプチドの分化制御に関する知見が示唆されました。

詳しい内容に関しては <http://jsnfs70.umin.jp/program.html> をご参照ください。